

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.10.11

No. 52

合格者はダレないこと！



今年の厳しい求人状況の中で、無事合格を勝ち取った皆さんは、ほっとして何となく気持ちがゆるみ始めていませんか。少なくとも就職の決まらない周りの友人は、悲壮な思いをして毎日を過ごしていると思います。その周りで、合格し浮かれた気持ちで騒いでいるのもどうかと思います。しかし何よりも皆さんにとってはこれから本当の真価が問われてきます。せめて残された高校生活に資格試験にチャレンジしたり、色々な本を読んだり、パソコンの基本的知識を身につけたりと社会に出るための真の力を蓄えておかないといけません。蟻とキリギリスの話のように何事も蓄えがないとその後の生活がきちんと送れません。

皆さんはまさに社会に出るための蓄えが必要です。今までの学生生活と違います。社会人としての常識や基礎学力等をきちんと身につけて社会に出ないと恥をかいったり苦労することが多いでしょう。就職、進学に関わらず内定をもらった人は当面の目標を見失うことなく、是非今やるべきことは何かをしっかりと見つめて、残された高校生活を充実させるよう心がけましょう。



秋の夜長に読書を

面接練習の際、高校に入ってどれくらい本を読んだかを聞くとかなりの人がほとんど読んでいませんとこたえていました。小学校以来色々な人から本を読むように言われてきたと思いますが、どうしてこんなにも本を読むことを勧められるのでしょうか。

そこには色々な理由があるでしょう。一人の人間が一生の間に経験できることは限られています。しかし本を通して色々な人の経験を共有したり、色々な想像力を働かせたりすることが出来ます。それにより今まで考えたこともないようなことを考えたり新しい世界を知ることによって自分の世界を広げることが出来ます。

読書を通じて単に知識を増やすというよりも、本により様々な疑似体験を増やし、それだけ物の見方が広まるわけです。また集中力も付きますし、頭の思考訓練にもなります。若いときは出来るだけそうした疑似体験と思考訓練を積むことは大切なことです。人生にはその時々を読んだ方がよいと思われる本が多くあります。若く純真で思考の柔軟な時期にこそ多くの良い本に接して欲しいものです。ある本との出会いにより人生に大きな影響を受けることもあります。私も若いときに読んだ本で何冊かそうした本がありました。

皆さんも高校卒業までにせめて1冊でも多く本を読んで欲しいものです。



進学者書類の提出期限に注意

先日ある生徒が、進学先へ出す応募書類の〆切を忘れ、大学からどうなったか問い合わせがありあやうく提出期限を過ぎそうになり、大あわてで間に合わせました。くれぐれも書類を出し忘れしないように注意しましょう。

【求人情報】

(株)テクノ(伊那市野底) 製造ラインの設計製造 運動系クラブで元気のある生徒を

(株)大成ハム(飯島町田切) ハムの製造 男女どちらでも

(合)西友(地元) 男女どちらでも (有)清水製作所 南箕輪村 カメラ部品等